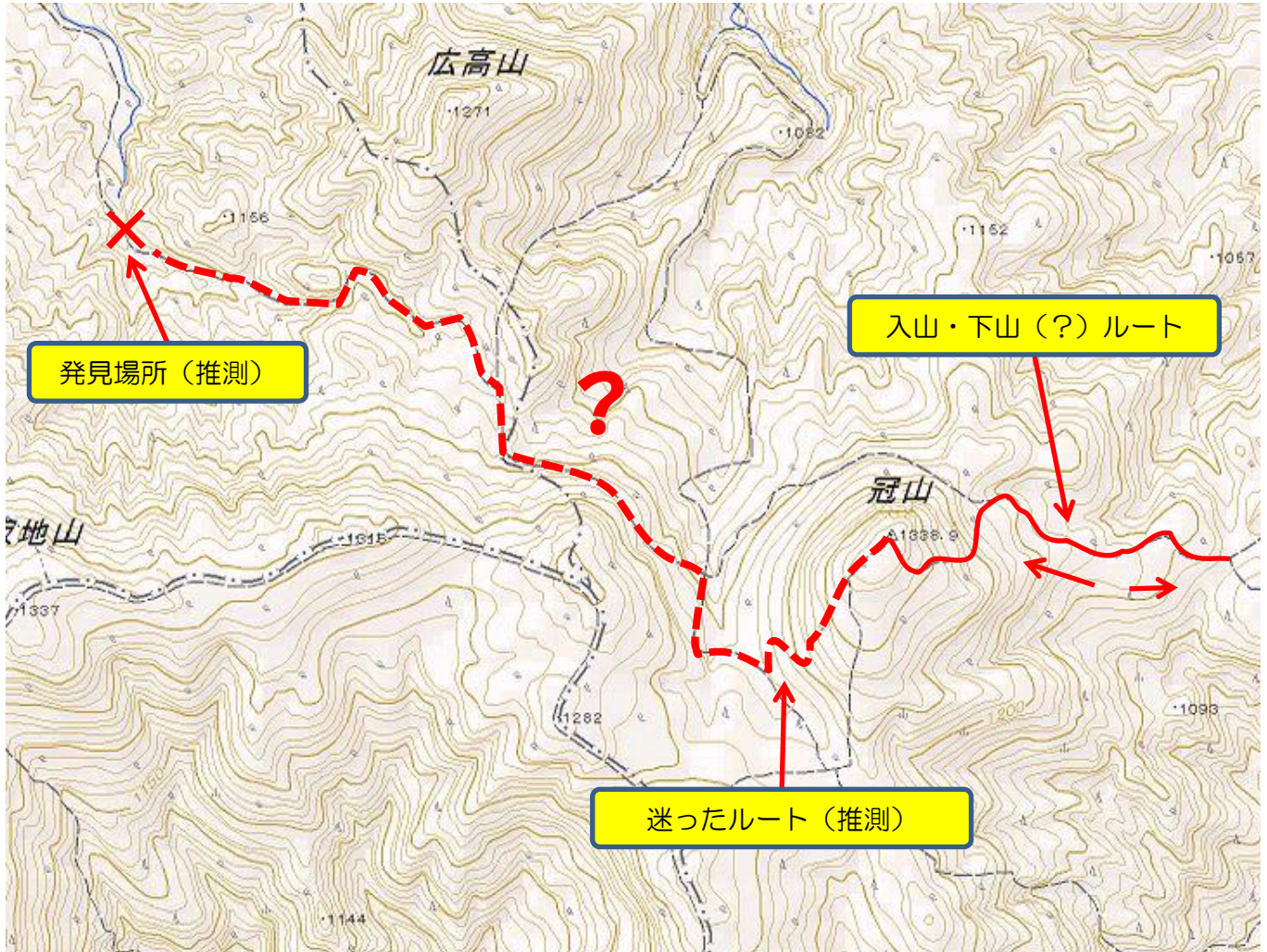


吉和冠山遭難(2013年9月)

67歳単独女性が地図に掲載されていない道を進んだため道迷い。携帯で救助を求め3日後に下山ルートではない島根県側で発見された。



解説

東側(広島県汐原温泉)から入山。下山ルートで道に迷い、23日午後8時頃、警察へ携帯で「下山中に道に迷った。暗く動けない」と通報。翌日24日、午前7時頃、再び電話が通じ「寂地山にきたようだ。吉和冠経由で下山する」と連絡があったが、その後再び連絡不能となる。26日正午過ぎ、島根県側の沢沿いの登山道(山頂から西側2km)で発見、救出された。

道から外れずに行動していた事が幸いしたように思われる。ただ、東側の広島県から入山したのだが、まったく方向の違う西側の島根県側の沢で発見された。これは、下山の方向をコンパスと地図で探していないからだと思われる。携帯電話がつながったのであれば、吉和冠山(この辺の一番高いところ)で救助を待つのも一つの方法だったのかもしれない。

登山口から1時間ぐらいで登れる里山といえども地図とコンパスを使わず、勘を頼りに登山道を歩くととんでもない方向に歩いてしまう事例であった。